

第2次南あわじ市男女共同参画計画(案)に対する意見と市の考え方

◆意見公募期間 平成30年2月1日(木)から平成30年2月15日(木)まで

◆意見提出状況 意見提出者2名 意見提出数3件

意見書 番号	意見の概要	該当 ページ	意見に対する市の考え方
1	市民向けに講演会を実施することだが、市民全体を対象に実施するよりも、ターゲット(若者、男性、事業所など)を絞って実施するのが効果的ではないか。	19 38	本市は、「男女共同参画」について知り、考えるきっかけを持って頂くため、ターゲットは絞らずに、できるだけ多くの市民の皆様にご参加いただける機会を設けていきたいと考えております。 そのため、計画の基本目標1「男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり」の基本施策(1)「男女共同参画に関心を持ち、意識を育てよう」において掲げているように、施策①「男女共同参画について学ぶ機会の提供」としてフォーラム等の開催を進めていくとともに、基本目標4「安心して暮らせる社会づくり」の基本施策(1)「すべての人が安心して暮らせる環境をつくろう」の施策③「多様な生き方に対する尊重と理解の促進に向けた取り組みの充実」として、学習会の開催等を予定しております。
2	子どもの頃からの意識醸成が大切だと思う。計画書内には難しい言葉も多いので、わかりやすく学べるような工夫が必要ではないか。	21	本市においても、子どものころから男女共同参画への理解を深めていくことが大変重要であると考えております。計画の基本目標1「男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり」において、基本施策(2)「教育を通じて学習・理解を進めよう」と掲げ、教育の場において、子ども達に対して男女共同参画の視点に立った学習機会を提供できるようなプログラムを進めてまいります。また、教職員への研修を通じて、子どものころから男女共同参画への理解を深めることの重要性を伝えていけるよう、努めます。
3	女性が働きながら家事や子育てをするなど、現実はまだ負担が大きい。保育サービスの充実など、負担が軽減できる環境づくりが大切ではないか。また、男性・父親が積極的に家事・育児をすることができるよう、行政・企業などが協力して、取り組みを推進してほしい。	32 33 34	本市においても、家事・育児・介護と仕事との両立は、多くの方々が抱える課題であると考えています。本計画では、基本目標3「仕事と生活の調和が図れる環境づくり」において、基本施策(1)「労働慣行を見直し、男女がともに働きやすい環境をつくろう」と掲げ、子育てや介護をしながら働き続けることができるよう、保育サービスや介護サービスを充実させるとともに、家庭や職場における理解促進のための意識醸成を図ります。 また、男性の家事・育児については、同目標 基本施策(2)で「ワーク・ライフ・バランスの普及・促進を進めよう」と掲げ、育児休業取得促進等について、庁内において先進的に取り組みます。また、市内事業者等と連携し、男性の育児休暇取得やワーク・ライフ・バランスの推進に努めます。